日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ
251号
2022年9月
部内資料
発行責任者　太田　勁　(62-5727)
議員連絡先　薄井　孝彦　(62-5093)
服部　久子　(62-4357)
編集責任者　山本　久子　(61-1066)

議会一般質問
ネットで視聴

9月議会一般質問が8日、9日に行われ、10名が質問に立ち私はネットで視聴しました。

町は財政状況を改善するためとして2021年6月～今年9月まで、28回にわたり池田町行財政改革推進委員会を開催しています。

多くの議員が委員会で指摘された問題について質問しました。・来場者が増えず経費負担が大きい美術館の今後、・老朽化している会染保育園をどうするか、・役場庁舎も老朽化等々。

どれも簡単に解決できる問題ではありませんが、町民の知恵と力を借りて良い方向に行くことを願っています。

大きなお金をかけなくても次のことはすぐに実現できるのではないでしょうか。

薄井議員は「満蒙開拓平和記念館で本年度から自治体パートナー制度（自治体向けに協力会員を募集する）を始めたが、池田町もこれに参加し平和のまちづくりに取り組んではどうか。」と質問しました。

年5万円の協力金を支払えば平和の取り組みに対して様々な特典、援助が受けられるとのことで、中信地区の自治体では7市町村が参加しているそうです。

服部議員は「県が今年度から子どもの医療費の対象年齢を未就学児から小学3年生まで拡大し、今までの町の負担金額が減るので、保護者負担のレセプト代500円を無料にして欲しい」と質問しました。これも実現してほしいことです。

（山本久子）

学校給食費 無償化の声

憲法26条で小中学校の9年間を義務教育とし、これを無償としています。しかし実際教育に必要な備品（粘土、クレヨン、ドリル等々）や運動着・靴などは保護者負担となっています。

（ある調査によると、年間に小学校10万円、中学校で18万円はかかるとの概算）

今、各地で国・県に対し要望の強いものは給食費です。長野県内では全額無料が14自治体（中信：生坂村）あり、コロナ対策として一定期間無料が6自治体あります。池田町・松川村は年間小学3万5800円、中学3万6600円の補助がありますが。

近隣の市村で補助なしの自治体も多く、早急に国・県は無償化を検討して欲しいと思います。

給食は義務教育上最も重要で、美味しい給食が脳も筋肉も育てるのではないでしょうか。

（薄井百子）

沖縄県知事選
デニー氏 再選で県民の意思示す

しんぶん赤旗 12日

本当にうれしい勝利でした。

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の是非を最大争点に、コロナ禍からの経済回復などが問われた沖縄県知事選が9月11日、投開票され、新基地反対を貫き、米軍普天間基地の危険性除去と閉鎖・撤去を訴えた「オール沖縄」の玉城デニー知事が再選を果たしました。

玉城氏は33万9767票を獲得、次点の佐喜真氏に約6万5000票もの差をつけての大勝でした。2014年11月の翁長県政以来「オール沖縄」は3連勝です。

岸田政権は、「辺野古移設が唯一の解決策」と言っていますが、県民の多数が繰り返し反対の意思を示している新基地は絶対につくれないと思います。

政府は今回の結果を、重く受け止め、辺野古新基地建設を断念し、普天間基地の即時閉鎖・撤去に正面からとりくんで欲しいものです。

文芸欄

今月は俳句です。

人の常なる生老病死星流る　美ちこ
山鳩の声の長閑よ髪洗う　幸代
秋祭り今年も山車は出ないそう　久子

安倍元首相の「国葬」は憲法違反
信毎調査で「国葬反対」が68％

安倍晋三元首相が銃撃されると、岸田首相は直ちに「国葬」を提起し閣議決定を強行しました。

マスコミも連日「国葬」問題を取り上げており、信濃毎日新聞が10日に実施した緊急調査では安倍氏の国葬反対は68％、賛成はわずか16％でした。さらに岸田首相の説明に「納得できない」は69％に上っています。

反対する理由として「国葬にふさわしい業績や功績を残していない」経済政策「アベノミクス」や外交成果などの評価は大きく割れている点、また森友・加計学園や「桜を見る会」など解明されていないこと等が挙げられています。

国葬反対スタンディング 9/18

「国葬」が憲法違反と指摘する点は、①国家として安倍氏の政治を賛美・礼賛することになり、憲法14条が規定する「法の下の平等」に反するということ。②国葬の強行は19条が保障する「思想及び良心の自由」に反し、国民全体に「弔意」を強制することになります。

27日は武道館に国会議員、地方自治体の首長、外国要人など6千人を参加させる予定で、国葬費は当初2億5千万円の見積もりが16億6千万円に膨らみました。

1989年の昭和天皇の葬儀「大喪の礼」は警備費用だけで25億円掛かったとのこと。一部報道では最終的に百億円まで行くのではないか、など憶測も出されています。

今必要なことは「国葬」ではなく、統一教会と自民党の癒着問題の解明や、抜本的なコロナ対策ではないでしょうか。

「軍事費」過去最大の5兆6千億円

国の2023年度予算概算要求は、110兆円余りで過去2番目の規模となりました。また金額を示さない「事項要求」が多く盛り込まれており、要求総額はさらに膨張する模様です。

中でも目を引くのは防衛省が要求する5兆6千億円の軍事費です。岸田首相は5月の日米首脳会談で、軍事費を5年以内で国内総生産比2％＝11兆円規模にするとの、バイデン大統領に誓約したため、このような結果となりました。

中国との軍拡競争に突き進めば、日本の安全は遠のく一方です。高齢化で社会保障の増加も止まらない、巨額の借金である国債に依存する財務体質改善の方向性も見い出せない中、軍事費の膨張は許されません。

コラム 有明

“沖縄へ行きたい”朝ドラで沖縄の青い海をみてもう一度行ってみたくなった。サンゴ礁の感動や　現地の芸術、歴史遺産（火災前の首里城）の印象が焼き付いている。今でも観光客の絶えない島だ。基地内にオスプレイは見えなかった頃だ。余談だがオスプレイはミサゴ（水上から急降下し魚を捕えるオオタカ）の意味で、空中でバタバタと羽根を広げて停止できるミサゴから名前がついたそうだが。やっぱり基地問題は今でしょ。と今月行われた沖縄県知事選挙の報道で感じた。辺野古基地を作る為に沖のサンゴは別の場所へ移植したとか?信じがたいことを言う。基地ができれば周辺に住宅も観光地も作れないことは過去の沖縄の歴史が語っている。基地は日本が作り米国に提供。軍港・弾薬庫など大規模装備の基地とのことだ。戦地に飛ぶ戦闘機、狙われる基地沖縄を黙って見てはいられない。